

◆チャリティカードデザイン募集

子供地球基金では、チャリティカードのデザインを募集しています。応募のなかから選ばれた作品は、チャリティカードにして販売。その収益金で世界の紛争・被災地域の子どもたちを支援します。子どもたちの絵がカードになるこの機会に、是非ご応募ください。

このカードプロジェクトは、子供地球基金と三井住友海上グループ社員による社会貢献団体「スマイルハートクラブ」が1992年より協働事業として行ってきたチャリティカード事業の一環で行うもので、子どもたちが絵を描くことで、Kids Helping Kids～子どもたちが子どもたちを救う～活動へと繋がります。

東京ミッドタウン（4月18日～24日）にて開催致しました、子供地球基金創立20周年記念イベント『子どもたちの絵で地球を塗りかえよう』の会場でも、特設お絵描きコーナーを設けて絵を募集。来場したたくさんの子どもたちが自由に参加してくれました。

■「2008年 チャリティカード・デザイン募集」の概要

- テーマ：「自分の夢」「20年後の地球」をイメージして、自由に描いてください。
- 作品サイズ：サイズは問いません。お名前、年齢、作品のタイトル、30文字以内のメッセージを裏面に記載のうえ、画用紙にてご応募ください。立体物・彫刻等は受け付けません。
- 募集締切：2008年6月30日（月）必着 ○応募資格：15才未満
- 応募方法：子供地球基金までご郵送ください。 ※作品の著作権・使用権は子供地球基金に帰属します ※作品の返却は、原則としていたしません
- 特典：審査員にて選ばれた作品を2008年チャリティカードとして販売し、カードの収益金は、子供地球基金を通して、世界中の子どもたちの支援活動に使われます。
- 審査員：三井住友海上火災保険(株) 取締役会長 秦喜秋/女優・ナチュラリスト 高樹沙耶/子供地球基金 代表 鳥居晴美
- 作品の送り先・お問合せ：子供地球基金 事務局

◆三井住友銀行の取り組み

チャリティコンサート

4月27日(日)、日本大学カザルスホールにて、三井住友銀行チャリティコンサート「名曲のおもちゃ箱」が開催されました。三井住友銀行の行内音楽クラブによる本格的なコンサートは社会貢献活動の一環として開催され、今年で3回目。会場ロビーには、子どもたちの絵が展示されるとともに、子供地球基金チャリティグッズと、職員の方やそのご家族によって作られたエコたわし\*が販売されました。

今回のコンサートを通じて、物品販売の収益、さらに募金、計367,046円のご寄付をお寄せ頂きました。三井住友銀行、そしてご来場になられた皆様の温かいお気持ちに心よりお礼申し上げます。

\*エコたわし・・・アクリル毛糸で洗剤が要らない地球にも手にも優しいたわし



銀行ロビーで展覧会

東京・千代田区、大手町交差点角に立つ三井住友銀行 東京営業部。ここに、子どもたちの絵が展示されています。子どもたちの優しさやエネルギー溢れる17点の絵が、忙しい日常を送る大手町や丸の内の方々の癒しになればと思います。お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。

※日時については下記に記載（6月20日までの平日9～15時）

◆地球モチーフのマタニティTシャツ



優しく明るいPOPな色合いがとてかわいいうマタニティTシャツ。着心地の良いストレッチ素材の生地のお腹の部分にマークされた地球は、ママのお腹が大きくなると同時に大きくなっていくというユニークなデザイン。

この素敵な商品の収益の一部が、子供地球基金にご寄付頂けることになりました。

「マタニティ期ならではの、幸福のつまったまあいおなかをアートしちゃおう。そしてまわりの人たちと幸福を分け合おうという気持ちから生まれたTシャツ」 お腹の地球と一緒に大きくなっていく赤ちゃんの描く絵が、いつの日か地球のどこかの子どもたちの幸福の源になればと思います。

皆様の周りにいらっしゃる未来のママへのプレゼントにいかがですか？

お買い求めに関する情報はホームページにて

【ikuraku マタニティTシャツ】  
<http://store.shopping.yahoo.co.jp/ikuraku/index.html>

### 📍 展覧会

●京都・左京区  
5/11(日)～24(土)  
ル・カフェ338にて

●京都・左京区  
5/25(日)～31(土)  
万葉花(ばんだのはな)にて

●名古屋・中村区  
7/1(火)～  
豊田通商  
本社センチュリー  
豊田ビルにて

●東京・港区  
4/18(金)～24(木)  
東京ミッドタウンにて  
子供地球基金創立20周年記念イベント  
～子どもたちの絵で地球を塗りかえよう～

●東京・千代田区  
4/27(日)  
三井住友銀行主催コンサート会場  
日本大学カザルスホールにて

●東京・千代田区  
5/19(月)～6/20(金)  
三井住友銀行 東京営業部にて

■NEW MEMBER 新規にご入会いただいた方々です  
 【個人会員】岡田美恵子 様 【法人会員】 井関産業株式会社/日本シイベルヘグナー株式会社/株式会社 良品計画  
 (2008年3月1日～2008年5月31日 現在・五十音順)

## HAPPY 20th BIRTHDAY -kids helping kids-

### 子供地球基金創立20周年記念 子どもの絵で地球を塗りかえよう



## 特集 子供地球基金創立 20周年記念イベント

### “子どもの絵で地球を塗りかえよう”

2008年春、子供地球基金創立20周年を記念して、朝日新聞社と共催で、東京ミッドタウンにて参加・体験型チャリティイベントを開催しました。

“子どもの絵で地球を塗りかえよう”をテーマに世界各国の子どもたちが描いた作品を展示する「キッズ・アース・ギャラリー」をはじめ、子どもたちが未来の地球をイメージして大きな球体に絵を描く参加型アートワークショップなど、大人はもちろんのこと、子どもたちも楽しくチャリティを体験出来るイベントとなりました。



■初日に開催されたオープニングレセプション。協賛各社を代表してノバルティスファーマ(株)代表取締役社長三谷宏幸氏のスピーチ。



■東京FM少年合唱団により20周年を記念して作曲された「キッズ・アース・ソング」もお披露目されました。



■地球をイメージさせるかのように、子どもたちの絵は会場をぐるりと丸く囲うように展示。



■“自分の夢”“20年後の地球”をテーマにして子どもたちが絵を描くコーナーでは、2008年のチャリティカードのデザイン候補作を募集。描くことでチャリティに参加できることを、来場した子どもたちも体験しました。



■金・土・日の三日間限定オープン「チャリティ・ジュースバー by トロピカーナ」。募金にご協力いただいた方には、100%果汁ジュースを提供しにぎわいました。



ニルヴァーナニューヨーク サン・フルーツ

■イベント期間中、趣旨にご賛同いただいた東京ミッドタウン内商業店舗35店舗にて絵画展示。また募金箱やイベント告知ポスター設置にもご協力いただきました。

#### ご協力商業店舗 (アルファベット順)

AROMATIQUE / Baker Bounce / Chowder's Select Soup! / クーツグリーンティー / EMARINELLA NAPOLI / EYEVAN / ファーバーカステル / フランドル(PIAZZA GUYROVER) / ジェノエスクペーグルカフェ / グラナダ / 江戸切庵 / HAL YAMASHITA 東京 / Idea Degital Code / IDÉE SHOP/ IDÉE CAFE PARC / in Touch / 米処雷神光 / LEWATOSA+notsobig / LIBECO HOME MUJI / NIRVANA New York / Orange / PHONAM / Pizzeria-Trattoria Napule / patisserie Sadaharu AOKI paris / PUMA-The Black store Tokyo / ROTI American Wine Bar & Brasserie / 妻家房 / Sfera / STYLE MEETS PEOPLE / サン・フルーツ / 鈴波 / セブイレブ / Toshi Yoroizuka / Union Square Tokyo

#### ◆著名人によるトークセッション

期間中15時から、毎日、各界で活躍中のパネラーの方々を迎え、トークセッションが繰り広げられました。

テーマは、「20年後の子どもたち」。

様々な分野でご活躍の一方、子供地球基金の活動趣旨に賛同頂き、ボランティア活動にも力を注いでおられる方々が、パネラーとして参加。子どもたちの絵の魅力について、そして未来の子どもたちへのメッセージが発信されました。



4/18(金) 渡辺篤史氏(俳優)/ロレイン・レインボール氏(白鴎大学准教授・慶應義塾大学講師)



4/19(土) 三枝成彰氏(作曲家)/谷村新司氏(音楽家)/三谷宏幸氏(ノバルティスファーマ株式会社代表取締役社長)



4/20(日) 五十嵐淳子氏(女優)/米山公啓氏(医学博士・作家)



4/21(月) 高樹沙耶氏(ナチュラリスト)/藤原和博氏



4/22(火) 原島博氏(東京大学教授)/蛭川有紀氏(女優・アーティスト)



4/23(水) 波頭亮氏(経済評論家)/マリ・クリスティヌ氏(異文化コミュニケーション)



4/24(木) 若男壽美子氏(慶應義塾大学・武蔵工業大学 名誉教授)

#### ◆アートワークショップ ~20年後の地球を描こう!~



期間中の週末19・20日に開催された、「20年後の地球」をテーマにしたアートワークショップ。参加した約150名の子どもたちは、地球に見立てた大きなバルーンに絵を描けるとあり、大興奮。20年後の地球が平和で仲良く暮らせる場所であるようにと願いを込めて、想像力に溢れた優しい絵を描きました。不思議な生き物やお花、世界中の子どもたちが手をつないでいる様子、地球、そして「地球をきれいにしよう」などのメッセージも書かれ、子どもたちの20年後の地球への想いが詰められた数々のバルーンが出来上がりました。

期間中にイベントに訪れた方の多くが、ひとつひとつのバルーンの前で足を止め、子どもたちの純粋で優しい絵に感動されていました。

子供地球基金では、子どもたちがバルーンに描いた地球が20年後に現実のものとなるよう、これからも世界中の子どもたちと一緒に活動をしていきたいと思います。



バルーンの上から下までぎっしり描く子どもたち



□期間：2008年4月18日(金)～24日(木)

□会場：東京ミッドタウンB1Fアトリウム

□主催：子供地球基金・朝日新聞社

□協力：東京ミッドタウン

□ご協賛：

◇特別ご協賛

ノバルティス ファーマ株式会社

◇ご協賛

三井住友海上火災保険株式会社 / 株式会社アクタス/リシュモンジャパン株式会社 カルティエ / 株式会社サイバードホールディングス / 住友化学株式会社 / エービーエヌ・アムロ・バンク・エヌ・ブイ東京支店/パカラパシフィック株式会社 / 三井住友銀行 / ムンディファーマ株式会社 / ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン株式会社 / 株式会社トンボ鉛筆 / コールマンジャパン株式会社 / キリン・トロピカーナ株式会社 / 株式会社ルミエール/日本シイベルヘグナー株式会社 / 株式会社良品計画 (敬称略・順不同)

◇Special Thanks

リカルド・ルドルフ氏 / マイケル・センベロ氏(キッズ・アース・ソング作詞作曲) / フランチェスコ・ロマノ氏(映像制作) / 山本昌弘氏(映像制作) / 東京FM合唱団/ジャンカ・サウスウィック氏(MC) / 株式会社エグゼクインターナショナル(総合プロデュース) / ジル・ボーフィス氏(ビデオバルーン)/ワンプラスワン・グラフィックス(デザイン) 他ボランティアの皆様 (順不同)

なお、イベント期間中に設置した募金箱へ集まった合計766,919円は、キッズ・アース・ホームクロアチアの再建事業に活用させていただきます。

## KIDS EARTH CAR Project

キッズ・アース・カープロジェクト

### 慈恵医大 ~おうちにペイント!~

今回は、(株)ポーネルドよりご提供いただいた「ビルド・ユア・ハウス」を用いてのアートワークショップ。世界中の子どもたちが幸せに暮らせるようにと願いを込めて、色を塗り、お家を組み立てました。完成した作品は、20周年イベント会場に展示。子どもたちの優しい想いが、世界中に伝わり、子どもたちによるチャリティー活動がどんどん広がっていきますように。



どこから色を塗り始めようかな

### 神奈川県立子ども医療センター ~好きな色で好きなものを描いてみよう!~

3月は、大きなキャンバスに自由に絵を描くというアートワークショップ。参加した約30人の子どもたちは、普段はベッドの上で過ごすことが多く、初めての経験に大喜び。

作品が院内に展示され、子どもたちは病院に訪れる人たちに、誇らしげに自慢していたようです。子どもたちにとって心に残るアートワークショップとなりました。また絵を見た人々が元気をもらえたらと願ってやみません。



出来上がった作品は素晴らしいものばかり

### 神奈川県立子ども医療センター ~皆で大きな作品を作ろう!~

今年3回目アートワークショップで挑戦するのは、皆で描く大きな作品。参加した30人の子どもたちは2つのグループに分かれ、筆や手も使って、豪快に、そして繊細に絵を描いていきました。彼らのエネルギーと集中力は1枚のキャンバスには収まりきらず、子どもたちからは「もう一枚描こうよ」という声。

完成した3作品は、院内の廊下に飾られる予定。参加した子どもたちは、作品が飾られる日を今からとても楽しみにしている様子でした。



子どもたちにとっては手も筆と同じ!



色鮮やかな大作が出来上がりました

### クロアチアに届けよう 日本の子どもたちの夢 ~タペストリープロジェクト~

今年で5回目を迎える第1号キッズ・アース・ホームと児童養護施設至誠学園の子どもたちとの異文化交流。子どもたちは、30cm四方のキャンバスにそれぞれの将来の夢を描きました。サッカー選手や、お花屋さん、科学者、お嫁さんなど、とても生き生きとした作品が完成しました。

これらの絵は、世界中の子どもたちの描いた絵と共にタペストリーとなって、今秋クロアチアで計画されている展覧会に出展されます。子どもたちの夢が、クロアチアの子もまたちや展覧会に訪れる皆さんにも届きますように。ご協力：ゴールドマン・サックス証券株式会社、ターナー色彩株式会社

## コラム DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol.21

子供地球基金 顧問・ノバルティスファーマ代表取締役社長 三谷宏幸

子供地球基金と出会って10年以上が経ちました。振り返って世の中にあるボランティア活動というのを見てみると、様々な企業が活動に取り組みようとしていますが、実際にうまく行っている所は少ないように見えます。その原因はいくつか考えられますが、多くの場合は「押し付け」の活動であり、企業や団体の図体が大きすぎて、お互いの意識の統一が図れない所にあるようです。

自分自身も子供地球基金に最初に参加した頃を思い出しますと、何か十分には活動の本質を理解しないでいたのが本音です。ボランティア活動とは、“こんな事をやっているだけじゃ駄目なんじゃないか”、或いは反対に現場参加型にとられて“もっと汗をかくことが必要なんじゃないか”、といった形にとらわれて感じていることが多かった、というのが反省としてあります。

そうした“呪縛”を乗り越えて、どんな活動が意味があるか、というよりも、取り敢えず何かをやる事が大事だ、とだんだん思うようになってきました。

そんな中、“Kids Helping Kids”という“押し付け”や“やりっ放し”ではない活動、しかもお互いが双方向で交流しながら心を癒し、互いに高め合う素晴らしい活動のあり方を、子供地球基金という形で築き上げて皆に範を示してくれた鳥居さんのリーダーシップに敬服しています。そして20周年を迎えてミッドタウンで行ったイベントの大成功に協力させていただいたことに感謝致します。